

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和 元 年度『学校だより』

第11号 R元, 9, 26

校 長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

宿泊学習 4 年

19日(木)から20日(金)にかけて、4年生が郡山自然の家で「宿泊学習」を行いました。この行事のめあては「自分で考えて行動しよう」「友達と助け合って生活しよう」「自然の中で元気に活動しよう」の3つでした。「室内アーチェリー」「スコアオリエンテーリング」「キャンドルファイヤー」「星空ウォッチング」「ウォークラリー(自然の家周辺)」などの活動や親元を離れての自然の家での生活を通して、自分で考えて行動したり、班で協力して活動したりすることができました。



陸上壮行会

25日(水)に「陸上大会出場選手壮行会」を愛の庭で行いました。出場する種目と選手を紹介し、選手代表が、抱負を発表しました。

そして、5年生が応援団となって、全校生でエールを送りました。大会で活躍することを期待しています。



ハッP活コーナー

本日お知らせの部・委員会
厚生委員会

○ 四校対抗PTA球技大会の結果

9月8日(日)に行われた四校対抗PTA親善球技大会の結果をお知らせします。

バレーボールの部

優勝

ソフトボールの部

準優勝

おめでとうございます!

※ 選手の皆様、ご苦勞様でした。また、厚生委員の皆様、会員の皆様、応援ありがとうございました。



○ 五校対抗PTA球技大会のお知らせ

・日時 9月29日(日)

8時30分 開会式 9時 試合開始

・場所 福島第三中学校

※ また、応援のほどよろしくお願いいたします。

前向きな親の姿は、 きっと子どもに届いている。

ひとり親家庭や共働き家庭では、親が働きながら子育てをするため、ゆっくりと子どもと接する時間が少なくなりがちです。しかし、子を思い、より良い将来に向かって努力する親の姿は、しっかりと子どもたちの心に響いているはずです。

また、さまざまな悩みなどは、ひとりで抱え込まず、親類や友人の協力を得たり、地域の相談窓口や子育てサポーターや子育てネットワークといった、子育てを応援・サポートしてくれるシステムなどを積極的に活用したりしましょう。



ひとりで悩まず、前向きに子育てしよう

これまでの常識では通用しない 問題が増えている。

子育ての不安、いじめや不登校などで悩みを抱えたとき、配偶者や親・きょうだい・友人などに相談することが多いのですが、それだけでは解決できないときもあります。社会の急速な変化や家庭の多様化から、これまでの教育や子育ての経験だけでは適切な助言が難しい問題も多いからです。そういうときは迷わず専門家に相談しましょう。

学校の先生・スクールカウンセラー・家庭教育相談・教育センター・警察の少年相談窓口・児童相談所・精神保健福祉センターなどさまざまな相談機関があります。それぞれの特色を知り、相談内容にふさわしい機関を選び勇気を出して相談してみましょう。



資料:「少年非行等に関する世論調査」平成17年・内閣府

時には専門家の知恵を借りる

※ データはかなり古いものになりますが、傾向はあまり変わっていないようです。さらに複雑な問題が増えています。